

令和2年度法人本部事業報告書

(1) 総括

〈現下の課題に対する取組を中心に〉

令和2年度は、居住部門、居宅支援部門ともに新型コロナウイルス感染症の侵入阻止を連綿と続けた一年であった。また、介護職員の減少によって体制が脆弱となっていた特別養護老人ホームと短期入所生活介護、介護タクシーに係る運営の改革、さらに施設環境の改善を目標に近代化工事に取り組んできた。概要は次の通りである。

- 1 新型コロナウイルス感染症の危機が日増しに増大していることから、競輪公益財団（JKA）からAEDや心電図計等の医療機器を20種全額助成して頂き整備、さらに大分県から非接触体温計や高性能マスクなど122種をこれも全額助成して頂き、利用もしくは備蓄に供することが出来た。
- 2 感染症蔓延のため利用者が激減していた介護タクシーは令和2年6月を以て休止、雇用維持のため担当者は特別養護老人ホームへ異動、さらに介護職員の減少を踏まえ、特養すみれユニットとショートステイは令和3年2月から休止を断行し立て直しを図った。特養とショートステイは早期の再開を期して準備を進めている。
- 3 感染症対策として、国と大分県に協議し、ショートステイの準個室化、さらに完全個室化の2期に亘る工事を行った。また、本格稼働は令和3年度からとなったが、ITを活用したご利用者のバイタル採取とコンピュータ記録への反映を行うべく1年をかけて準備を進めた。また、広報戦略を本格化させるため専任職員を採用することとした。ホームページの更新、タブレットやインカム、Wi-Fi設備の導入、介護支援ソフトとの連携などこれまで以上に積極的に推進できる準備が整った。
- 4 人手不足軽減のため取り組んでいる外国人技能実習生については、入れ替わりも予想されるため、新たにインドネシア国から医療関係者（看護師）を中心に3名採用した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症のため来日が困難な状態で、いつ業務に従事出来るかは予測困難となっている。

(2) 令和2年度運営方針に沿った取り組みについて

令和2年度当初に、主たる課題として次の3点を掲げた。

- 1 ご利用者の満足度向上を図る
- 2 ご家族、地域への（ニーズにあった）サービス提供
- 3 人材確保（働きやすい職場づくり）

年頭にあたって、愛泉会の実践3項目を「もっと声かけ、もっと気配り、目配りを」とし、毎朝唱和することで職員一丸となって処遇の向上に取り組んで

きた。満足度向上のための快適空間作り、サービス提供のためのニーズ把握（アセスメント）、働きやすい職場作りのための資格取得助成金制度等を幅広く活用しながら事業の発展に勤しんだ。

（３）令和２年度事業所別の利用状況について

前述の通り、特別養護老人ホーム情和園の１ユニット追加休止とショートステイの休止が法人全体に与えた影響の大きさを印象づけた令和２年度であった。

これに対し、コロナ渦にもかかわらず居宅部門は全体的に健闘しており、特に訪問看護は２０％以上の伸びであり、需要の大きさを印象づけた。

詳細は、添付別紙「直近３年間の利用人員対比表」参照。全体を俯瞰した分析も併せて記載している。

今後も介護職員と看護職員の採用を最重点課題として、様々な施策を講じていく予定である。そして、全職員が各専門分野の技術と知識の向上に取り組み、地域の護り手として活躍していけるよう環境整備を充実していく所存である。

（４）専門委員会組織とその活動について

各専門委員会の令和２年度事業報告は添付別紙の通り。

直近3年間の事業所別延べ利用人員対比表(平成30-令和2年度)

〔事業報告資料〕

社会福祉法人愛泉会

事業所名	延べ利用人員 (人)			対前年度比	対前年度比伸 び率(%)
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	増 減	
特別養護老人ホーム	31,832	28,651	27,696	△ 955	特養+短期
短期入所	2,426	1,913	1,191	△ 722	-5.5%
訪問介護	2,375	事業廃止	-	-	-
訪問看護	1,954	1,956	2,363	407	20.8%
通所1課(情和園デイ)	8,392	9,451	8,958	△ 493	-5.2%
2課(ハッピー)	2,483	2,638	2,669	31	1.2%
3課(みもぞ)	7,876	7,150	7,291	141	2.0%
青春塾 (通所型)	3,599	3,971	3,886	△ 85	-2.1%
青春塾 (出張型)	369	通所型に組み入れ	-	-	-
居宅介護支援	2,115	2,209	2,129	△ 80	-3.6%
ケア輸送					
4条 介護タクシー	2,329	2,587	事業廃止(6月)	-	-
78条 乗降介助	774	事業廃止	-	-	-
(有料)アットホームいずみ	9,824	9,638	9,167	△ 471	-4.9%
(合計)	76,348	70,164	65,350	△ 4,814	-6.9%
在宅介護支援センター					
実態把握(まちかど相談所含む)	104	100	感染予防休止	-	-
緊急通報(登録者数)	9	9	8	△ 1	-11.1%
お元気コール	118	89	84	△ 5	-5.6%
ハッピーいきいき塾 (回数)	1	1	感染予防休止	-	-
ハッピーいきいき塾 (人数)	19	19	感染予防休止	-	-
(合計)	251	218	92	△ 126	-57.8%

「分析」

居宅サービス部門は新型コロナウイルス感染症のリスクがあるなかで、全般的に検討している。特に、訪問看護は20%を超える伸び、通所2課は1.2%、通所3課は2%の漸増であった。利用人員が大きい通所1課と青春塾は2～5%の減少に抑えることができた。

これに対し、居住部門の中核である特養は介護職員数の逼迫から令和3年2月を期にすみれ1ユニットと併設の短期入所を追加休止せざるを得なくなり、前年比△5.5%減であった。